



# ささえるだより

1月号 2021. Jan vol.20

今年は毎月発行頑張ります。kie

あけましておめでとうございます！本年もSASAERUをどうぞよろしく願い申し上げます。さて、年も明け新年張り切っていきましょう～！と言いたいところですが・・・世間は「コロナウイルス」と「大雪」のニュースばかり。みんなで乗り切ろう！とやっておりますが、どこの地域も大変なことになっています。そんな中で、時より見るニュース。『「最期は家族と」・「面会制限敬遠」・「増える在宅患者」』。コロナ禍で、入院はさせず、在宅診療を考える人が増えてきているとのこと。実際に、私たちにも新規患者の相談が増えており、実際に入院していた方が、在宅に戻り、1月から在宅医療に切り替えた方もいます。



## 家で診てもらえるの？

治療をする場所は、病院。以前の私も当たり前のようにそのイメージを持っていました。しかし、ささえるに入り「訪問診療・訪問看護」という言葉と仕組みを知って、病



気の方が在宅で生活することは“不可能ではない！”ということに気づきました。もし、何も知らない自分が、家で病気になった家族をサポートする立場だったら？「一人で見ていけるだろうか」「急変した時にどうしたらよいか」「自分の仕事やプライベートの時間を確保しながら介護ができるのか」など、様々な不安が頭をよぎると思います。でもその不安は解消できるのです。

## 24時間365日サポート

訪問診療の契約をしていれば、夜中に何かあっても大丈夫。医師携帯に連絡をして、主治医に指示をもらうことができます。連絡できる先があるだけでも、安心ですよ？

## 体調不良時は点滴・注射を在宅で

体調不良時は点滴・注射を“在宅”でできます。必要であれば、住みなれた場所で、実施することができるため、安心できると思います。

「お父さんが体調悪くてもう家から出られない。でもこのご時世で、すぐ入院できるのかな、最期は家にいさせてあげたいし、本人もそれを望んでいるし……。どうしたらいいのかな。」

「雪もひどいし、足腰が悪くて通院が困難。どうしたらいいかな。」

## 些細なことでも相談ください。



誰に聞けば良いかわからないこと。何だか少し不安なこと。医療のこと、介護のこと、もちろんそれ以外も。ちょっと聞いて欲しいな、話したいなということをふらっと話せる場所「暮らしの保健室いわみざわ」。コロナ感染対策をしっかりとった上で、近日そういった場所を作りたいと思っています。

Coming Soon...